

教科	音楽	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
曲の形式を生かして歌おう	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。</li> <li>・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。</li> <li>・リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。</li> <li>・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組む。</li> </ul>	<p>【知】曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。</p> <p>【技】創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。</p>	<p>リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。</p>	<p>曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。</p>
旋律に合うリズムパターンをつくらう	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解する。</li> <li>・創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や音の組合せなどの技能を身に付ける。</li> <li>・リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫する。</li> <li>・反復、変化、対照などの構成や全体のまとまり、音の重なり</li> </ul>	<p>【知】音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解している。</p> <p>【技】創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や音の組合せなどの技能を身に付けている。</p>	<p>リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫している。</p>	<p>反復、変化、対照などの構成や全体のまとまり、音の重なり方に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習に取り組もうとしている。</p>
曲の形式を捉え、パイプオルガンによる表現を鑑賞しよう	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「小フーガト短調」の曲想と音楽の構造との関わりを理解する。</li> <li>・音色、旋律、テクスチャ、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価やその根拠について考え、曲のよさや美しさを味わって聴く。</li> <li>・曲想と音楽の構造との関わりやパイプオルガンに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組む。</li> </ul>	<p>【知】音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解している。</p> <p>【技】創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や音の組合せなどの技能を身に付けている。</p>	<p>リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫している。</p>	<p>反復、変化、対照などの構成や全体のまとまり、音の重なり方に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習に取り組もうとしている。</p>
曲の構成を聴き取り、オーケストラによる表現を鑑賞しよう	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「交響曲第5番 ハ短調」の曲想と音楽の構造との関わりを理解する。</li> <li>・音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、よさや美しさを味わって聴く。</li> <li>・曲想と音楽の構造との関わりやオーケストラの豊かな響きに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組む。</li> </ul>	<p>【知】曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。</p>	<p>音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、「交響曲第5番 ハ短調」のよさや美しさを味わって聴いている。</p>	<p>曲想と音楽の構造との関わりやオーケストラの豊かな響きに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p>

<p>サミングや息のコントロールを身に付けて表現を工夫しよう</p>	<p>2</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リコーダーの音色や響きと奏法との関わりについて理解する。</li> <li>・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な息のコントロールやサミングなどの技能を身に付ける。</li> <li>・音色、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。</li> <li>・リコーダーの音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習に取り組む。</li> </ul>	<p>【知】リコーダーの音色や響きと奏法との関わりについて理解している。</p> <p>【技】創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な息のコントロールやサミングなどの技能を身に付けている。</p>	<p>音色、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫している。</p>	<p>リコーダーの音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習に取り組もうとしている。</p>
<p>パートの役割を生かして合わせて歌おう</p>	<p>7</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。</li> <li>・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。</li> <li>・リズム、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。</li> <li>・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組む。</li> </ul>	<p>【知】曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。</p> <p>【技】創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。</p>	<p>リズム、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。</p>	<p>曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。</p>
<p>雅楽の多様な表現を鑑賞しよう</p>	<p>2</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雅楽「越天楽」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史を理解する。</li> <li>・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の固有性について考え、よさや美しさを味わって聴く。</li> <li>・音楽の特徴とその背景や歴史、雅楽の楽器に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組む。</li> </ul>	<p>音楽の特徴とその背景となる文化や歴史について理解している。</p>	<p>音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の固有性について考え、雅楽「越天楽」のよさや美しさを味わって聴いている。</p>	<p>音楽の特徴とその背景や歴史、雅楽の楽器に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p>
<p>箏の基本的な奏法を身に付けよう</p>	<p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・箏の音色と奏法との関わりについて理解する。</li> <li>・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な右手の使い方や縦譜の読み方などの技能を身に付ける。</li> <li>・音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、器楽表現を創意工夫する。</li> <li>・箏の音色と奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習に取り組む。</li> </ul>	<p>【知】箏の音色と奏法との関わりについて理解している。</p> <p>【技】創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な右手の使い方や縦譜の読み方などの技能を身に付けている。</p>	<p>音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、器楽表現を創意工夫している。</p>	<p>箏の音色と奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習に取り組もうとしている。</p>
<p>曲の特徴を生かして歌おう</p>	<p>3</p>	<p>声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを理解する。</p> <p>創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。歌唱表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(イ)の技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。</p>	<p>言葉の発音と音域(5度の跳躍)に応じた発声との関わりについて理解している。</p> <p>全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う技能を身に付けている。</p>	<p>歌唱表現に関わる知識(言葉の発音と音域(5度の跳躍)に応じた発声との関わり)や技能(全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う)を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。</p>	<p>歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。</p>

<p>雅楽の多様な表現を鑑賞しよう</p>	<p>3</p> <p>音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解する。鑑賞に関わるイ(イ)の知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組む。</p>	<p>雅楽の音楽的な特徴とその背景となる文化や歴史と関わりについて理解している。</p>	<p>鑑賞に関わる知識(雅楽の音楽的な特徴とその背景となる文化や歴史と関わり)を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p>	<p>鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。</p>
<p>曲の特徴と構成のおもしろさを味わいながら鑑賞しよう</p>	<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造との関わりを理解する。</li> <li>・音色、リズム、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性について考え、よさや美しさを味わって聴く。</li> <li>・曲想と音楽の構造との関わりやオーケストラの音色や響きに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組む。</li> </ul>	<p>曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。</p>	<p>音色、リズム、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性について考え、よさや美しさを味わって聴いている。</p>	<p>曲想と音楽の構造との関わりやオーケストラの音色や響きに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p>
<p>能の多様な表現を鑑賞しよう</p>	<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・能「敦盛」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりを理解する。</li> <li>・音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、能「敦盛」のよさや美しさを味わって聴く。</li> <li>・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組む。</li> </ul>	<p>音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。</p>	<p>音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、能「敦盛」のよさや美しさを味わって聴いている。</p>	<p>音楽の特徴とその背景となる文化や歴史に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p>
<p>五つの音とリズムを組み合わせて旋律をつくろう</p>	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音階や言葉などの特徴について理解する。</li> <li>・創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や音の組合せなどの技能を身に付ける。</li> <li>・リズム、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫する。</li> <li>・音階や言葉などの特徴について関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習に取り組む。</li> </ul>	<p>【知】音階や言葉などの特徴について理解している。 【技】創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や音の組合せなどの技能を身に付けている。</p>	<p>リズム、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫している。</p>	<p>音階や言葉などの特徴について関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習に取り組もうとしている。</p>